

大阪新幹線なんば駅

天王寺区医師会 中石 滋雄



Background：高速鉄道は都市間交通の中心的存在である。残念なことに、大阪の玄関口である新大阪駅が大阪市中心部から遠く離れているため、本来、限りない可能性を秘める大阪が、この半世紀、その実力を十分に発揮することができなかった。

Objective：大阪市中心部に複数の新幹線駅を設置する方法を提案する。

Method：工事中のなにわ筋線を在来線規格から新幹線規格に変更するとともに、福島駅で分岐し淀川方向に進めJR神戸線の上層に高架新幹線線路を建設する。塚本に新駅を設置し加島駅で山陽新幹線につなぐ。おおさか東線うめきた～新大阪間と大和路線JR難波～天王寺間を在来線規格から新幹線規格に変更する。

Result：JR難波駅・天王寺駅および南海新難波駅・新今宮駅から、東京行きのぞみ号および博多

經由鹿児島中央行きみずほ号を運行することができるようになる。なんばで近鉄線・阪神線・御堂筋線・四つ橋線・千日前線と連絡する。天王寺で環状線・阪和線・大和路線・近鉄線・御堂筋線・谷町線と、新今宮で環状線・南海線と、動物園前で御堂筋線・堺筋線と、西本町で中央線と、中之島で京阪線と、塚本でJR神戸線と連絡する。

Discussion：大阪の主たる地点に新幹線駅ができ、大阪のほとんどのところから乗り換えることなく新幹線駅に到達できるようになる。もって、大阪の経済発展に大いに貢献する。車両幅・車輪幅・電圧・カーブの曲率半径・改軌・地下での分岐（塚本方面とうめきた方面）には検討すべき点が多いと思われるが、期待される成果の大きさを考えるとぜひその可能性を追求したい。なにわ筋線計画を現行のままとするのか、大阪新幹線構想に変更するのか、完成予定まであと5年となる今が最後のチャンスである。

